

さあ、夏休み！



先週の保護者懇談会では、子どもたちの成長の様子や、さらに努力し、伸ばしてほしいことについてお伝えすることができました。お忙しい中、お越しいただきありがとうございました。

7月21日から、38日間の夏休みが始まります。今年は遠出をしたり、日頃会えない人と交流したりする計画を立てているご家庭も多いのではないのでしょうか。普段は味わえない経験のできる夏休みです。子どもたちには、それぞれにめあてをもって、自分のやりたいことに精一杯取り組む、チャレンジする夏休みにしてほしいと願っています。

児童朝礼の話題から



児童朝礼で、身近にいる野鳥の話をしました。円山地区でも、カラスやスズメ、トビなどのおなじみの鳥の他にも、サギ類やカルガモ、モズやヒバリといった鳥を見ることができます。その中でも、田んぼなどの水辺でよく見るアオサギについて紹介します。

アオサギは、体の大きさが1m近くあり、遠くから見てもよく目立ちます。体は灰色で、羽は青色がかった黒色をしています。日本で暮らすサギの仲間では、一番大きなサギです。背が高く、脚も長くて、空を飛ぶときは長い首を数字の2のように曲げて、大きな翼でゆっくりはばたいて飛びます。ちなみに福井県ではほとんど見かけませんが、ツルの仲間は飛ぶときに首が一直線になります。



アオサギは、高い木の上に木の枝などを使ってお皿のような形の大きな巣をつかって子育てをします。そして仲間が集まって巣を作ります。円山小

の近くでは、丸山や東藤島の神社などの高い木の上に巣を見かけます。食べ物は肉食で、魚やカエル、ザリガニなどの水辺の生き物、蛇やトカゲなどの爬虫類、それに小鳥のヒナなども食べてしまいます。田んぼなどの水辺で見かけたら、しばらく様子を観察すると餌をとるシーンが見られるかも知れません。



今回紹介したアオサギをはじめとする野鳥は、いちばん身近な野生の動物です。学校の中庭にはモズが来ます。中校舎と南校舎をつないでいる3階の渡り廊下の角でチョウゲンボウというあまり耳慣れない名前のハヤブサの仲間が巣を作って雛を育てていたこともあります。この写真は、チョウゲンボウが4年3組の外にある非常階段に止まっていたところです。



身近にいても、よく知らない野鳥のくらしですが、興味をもって調べると意外なことばかりで、楽しい発見がたくさんあります。夏休みには、ぜひ、身近な自然に興味をもって、観察してみてください。



学校生活の一コマ



4年ぶりの連合音楽会



夏野菜の収穫